

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guidance))		
ナンバリングコード	K30110	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K007151	クラス名	-
担当教員名	中尾 正彦		
履修上の注意、履修条件	授業に毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。座席指定の予定ですが、見え方や聞こえ方等による変更希望はいつでも受け付けます。 授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をする等、「報・連・相」を身に付けてください。		
教科書	「生徒指導提要」令和4年12月改定 文部科学省		
参考文献及び指定図書	・「よくわかる生徒指導・キャリア教育」小泉令三編 ミネルヴァ書房 ・その他、授業の際に紹介したり、資料を配付したりする。		
関連科目	教育相談、教育心理学、特別支援教育論、特別活動の指導法、その他教職課程科目		

○基本情報			
授業の目的	○生徒指導の基本的な進め方(生徒指導・進路指導の意義や方法、留意点等)について理解し、学校や教職員の果たす役割について説明することができる。 ○生徒指導・進路指導の進め方について、いじめや不登校など様々な課題に対するリアクティブな支援はもとより、全ての児童生徒の発達を支える日常的・先行的なプロアクティブな支援のあり方に具体的に説明することができる。		
授業の概要	学校現場で問題となっている生徒指導・進路指導(キャリア教育)上の課題について理解し、生徒指導・進路指導に関する専門的知識と実践的指導力を身につけることができるように、それぞれの意義や原理とともに具体的事例を提示し、検討していくようにする。生徒指導・進路指導(キャリア教育)が教育活動全体を通じて行われる機能、領域であることを踏まえ、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に取り組んでいくために必要な知識や素養を身につける内容である。 * 毎回課題レポートを出します。提出方法は講義時に指示します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	中尾正彦 学校現場での教員経験(特に生徒指導、教育相談、特別支援教育コーディネーター担当)及びスクールカウンセラーの経験を活かし、この授業では、学校教育における生徒指導・進路指導(キャリア教育)の意義や原理をはじめ、不登校やいじめ、命の教育等の喫緊の課題はもとより児童生徒の自己指導能力を育成するための具体的な指導のあり方について、専門的知識と共に実践的指導力を身につけさせたい。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題に関心を持ち、生徒指導や進路指導の各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。		5点	5点
【知識・理解】	生徒指導・進路指導の意義や進め方、必要な基礎的知識を理解し、児童生徒の望ましい成長・発達を援助する具体的支援法を理解している。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	グループディスカッションやグループ活動等に主体的に参加することができる。レポート等において適切な文章表現ができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的等さまざまな観点から考察することができる。	30点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○毎回レポート課題を実施し、評価に加味する。評価基準は以下の通り。 S 授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べている。 A 授業内容をよく理解し、振り返ることができる。 B 授業内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 C 授業内容を一部理解し、振り返ることができる。 D 授業内容の理解が不十分である。 レポートや課題は次回以降の授業の際に返却する。 ○基本的な用語についての理解度を測る、中間確認としての「小テスト」を実施する(20点分)。評価基準はレポートと同様。	

○その他	
・教科書は主として高等学校の解説書を使用しますが、取得する学校種の解説書は全て準備してください。 ・毎回のレポートには質問や要望、意見等を書く欄を用意しています。遠慮せずに書いてください。なお、質問等は授業中はもとより、メール(nakaomh@nbu.ac.jp)等他の方法でも受け付けています。 ・教員を目指す人を支援するために、期末試験は教員採用試験に出題されるレベルの問題となりますので、そのつもりで履修し、学習を深めてください。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guide) 授業コード	K007151
学修内容			
1. 生徒指導とは何か～生徒指導の定義、構造～ ○本授業科目のシラバスを十分に理解する。 ○自身がこれまで受けてきた生徒指導を振り返るとともに、生徒指導の意義と原理を理解する。 ○生徒指導の定義や構造を理解する。			
予習 「生徒指導提要」第1章(1.2)を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
2. 生徒指導の方法と留意点 ○児童生徒理解、集団指導と個別指導等について理解する。 ○ガイダンスとカウンセリング、チーム支援について理解する。 ○生徒指導の取組上の留意点を理解する。			
予習 「生徒指導提要」第1章(3.4.5)を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
3. 生徒指導と教育課程 ○「総則」における生徒指導について理解する。 ○各教科等と生徒指導の関係を理解する。 ○各教科等における生徒指導の推進のあり方を理解する。			
予習 「生徒指導提要」第2章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
4. チーム学校における生徒指導体制 ○チーム学校について理解する。 ○生徒指導体制、教育相談体制について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第3章(1.2.3.4)を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
5. 学校危機、生徒指導に関する法制度 ○学校危機とその介入について理解する。 ○生徒指導に関する法制度等について理解する。 ○関係機関との連携・協働について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第3章(5.6.7)を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
6. いじめの現状と課題、対応 ○いじめの定義、いじめ防止対策推進法について理解する。 ○いじめ問題への対応を理解する。			
予習 「生徒指導提要」第4章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
7. 暴力行為、少年非行の現状と課題、対応 ○暴力行為の現状と課題、対応について理解する。 ○少年非行の現状と課題、対応について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第5章、第6章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
8. 児童虐待の現状と課題、対応 ○児童虐待の現状等を踏まえ、児童虐待防止法等の法制度について理解する。 ○児童虐待における学校の対応について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第7章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			

○授業計画	科目名 担当教員	生徒指導(進路指導を含む)(Student Guidance(Career Guide) 授業コード	K007151
学修内容			
9. 自殺予防と命の教育 ○自殺の現状と自殺対策基本法等について理解する。 ○自殺予防のための学校の対応や取組について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第8章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
10. 中途退学、不登校の課題と対応 ○中途退学の現状と対応について理解する。 ○不登校の現状と対応について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第9章、第10章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
11. インターネット・携帯電話、性に関する課題 ○インターネット・携帯電話に関わる問題と対応について理解する。 ○性に関する課題や学校における対応について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第11章、第12章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
12. 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導 ○発達障害に関する理解と対応について理解する。 ○精神疾患に関する理解と対応について理解する。 ○健康課題に関する理解と対応について理解する。 ○支援を要する家庭状況について理解する。			
予習 「生徒指導提要」第13章を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
13. 進路指導・キャリア教育の意義と理論 ○キャリア教育の意義と理論を理解する。 ○進路指導とキャリア教育の違いを理解する。 ○キャリア教育の進め方について理解する。			
予習 配付資料pp.168-175を読んでおく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
14. キャリア教育の方法と技術、職業観・勤労観の形成 ○キャリア教育の方法と技術について理解する。 ○働くことと職業の関係について考察する。 ○職業観・勤労観を育てる授業を考察する。			
予習 配付資料pp.176-183を復習するとともに、授業を構想しておく。 復習 レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			
15. 進路指導の進め方及び本学修のまとめ ○キャリア・カウンセリング及び進路指導のアセスメントツールを体験し、その意義について理解する。 ○これまでの学修を振り返る。			
予習 配付資料pp.184-187を読んでおくとともに、これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。 復習 これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。			
16. 期末試験 これまでの授業内容について、総合的な試験を実施します。 試験の概要については、事前に連絡します。			
予習 復習			